

2017年度 日本フードシステム学会大会個別報告一覧表 9:00 ~ 12:00 1報告20分 (発表15分, 質疑応答5分)

順番	時間	第1会場 5F 2505	第2会場 5F2506	第3会場 5F2507	第4会場 6F2601	第5会場 6F2602	第6会場 6F2604
順番	時間	報告課題/報告者	報告課題/報告者	報告課題/報告者	報告課題/報告者	報告課題/報告者	報告課題/報告者
1	9:00 9:20	世帯の社会的要因が食物摂取、健康状態に与える影響に関する研究の動向 福山市立大学 清原 昭子 龍谷大学 山口 道利 大阪市立大学 松下 暉・上田 由喜子	家計における生鮮果物の消費動向 ～年齢階層別の分析による～ 農研機構 山本 淳子・河野 恵伸 東京農業大学 大浦 裕二	大規模法人経営における主食用米と飼料用米の収益性に関する分析 ～大分県豊後高田市を対象として～ 明治大学 古田 恒平 高崎経済大学 宮田 剛志	ゲノム編集由来製品のガバナンスをめぐる消費者の認識 ～農業と食品への応用に着目して～ 名古屋大学 立川 雅司 情報・システム研究機構 加藤 直子・前田 忠彦	市町村における食料品アクセス対策の動向 ～2012、2015年全国市町村調査から～ 農林水産政策研 大橋 めぐみ・高橋 克也 菊島 良介・池川 真里亜	大連におけるトレーサビリティ付き牛乳の許容価格 元東京海洋大学 丁 許茹 東京海洋大学 濱田 (佐藤) 奈保子 湯川 剛一郎・小川 美香子
2	9:20 9:40	家庭の食品ロスに影響を与える消費者行動に関する研究の動向 安田女子大学 野々村 真希	国産マンゴーに対する消費者評価 ～自家消費用ならびに贈答用の差異～ 筑波大学 渡慶次 力生・氏家 清和	耕畜連携による温室効果ガス削減 ～飼料用米の実証試験～ 日本大学 小野 洋 農研機構 大平 陽一・福重 直輝・西田 瑞彦	適用技術の違いが農作物のリスク/ベネフィット意識に与える影響 ～ゲノム編集技術に着目した定量的検討～ 情報・システム研究機構 加藤 直子・前田 忠彦 名古屋大学 立川 雅司	一時的フードデザートと高齢者への影響 ～都市近郊地域の住民調査による分析～ 農林水産政策研 池川 真里亜・高橋 克也 大橋 めぐみ・菊島 良介 ほか1名	Consumers' Preference of Apple Consumption in Afghanistan – An Experimental Analysis using Experimental Auction Method – University of Tsukuba Mustafa NASIRI Kiyokazu UJIE
3	9:40 10:00	顧客の価値創造領域に対する認識についての一考察 ～食品小売業における業態別の分析～ 新潟大学 滝口 沙也加 新潟大学 清野 誠喜	イチゴの甘味に対する消費者評価と糖度による差別化戦略 愛媛大学 山本 和博・山藤 篤 筑波大学 松下 秀介 秋田県立大学 藤井 吉隆	大規模農産物直売所の展開と運営 ～直売所の附帯施設が運営に及ぼす効果～ 愛媛大学 山藤 篤 山本 和博・香月 敬孝	子育て世代の食卓および食品入手経路の実態 ～亀岡子育てネットワーク会員を対象とした3調査の結果から～ 名古屋文理大学 中村 麻理 京都大学 秋津 元輝 総合地球環境学研 田村 典江 ほか1名	食料品アクセス問題における買い物サービス利用の規定要因と影響 ～モニター調査結果の分析～ 農林水産政策研 菊島 良介・高橋 克也 大橋 めぐみ・池川 真里亜	台湾における日本産農産物・食品のブランド化戦略 ～裕毛産企業股份有限公司を事例として～ 日本大学 佐藤 埜平・川手 督也 国立中興大学 楊 上系
4	10:00 10:20	直接コミュニケーションが消費者の企業評価に及ぼす影響 ～工場見学者アンケートを用いた定量分析～ 東京大学 伊藤 暢宏 筑波大学 氏家 清和 東京大学 中嶋 康博	野生獣肉における消費要因の分析 ～消費者の意識・知識、行政施策に着目して～ 明治大学 長尾 真弓・廣政 幸生	農業多角化に関与する独立型コーディネーターの典型的把握 千葉大学 櫻井 清一	食べる喜び、飲む愉しみ ～フランスの食育研究、ユネスコ無形文化遺産登録などを例に～ 農林水産政策研 須田 文明	日本およびフランスにおける食用油脂消費量の比較研究 ～食遷移の観点からの検討～ 東京大学・EHESS 福原 弘太郎	Research on the Current Status of Brand Building of Agricultural Products in Hainan Province, China – Take Danzhou City as an example – Nihon University Jia Lei-Kawate Tokuya Chinese Academy of Tropical Agricultural Science Mai Xiongjun
5	10:20 10:40	東南アジアにおける精米歩留まり向上が国際米価格変動に与える影響分析 ～気候変動下における世界米需給モデルによる分析～ 農林水産政策研 小泉 達治	食品内の放射性物質安全対策に関する分析 ～ウクライナを事例として～ 共栄大学 中村 哲也 千葉大学 矢野 佑樹・丸山 敦史	GAP個別項目に対する支払意思額の推計 東京大学 小山 智朗 三重大学 中島 亨	景観と結びついた食文化の形成 ～北海道十勝地域の食文化と観光イメージより～ 大阪市立大学 森崎 美穂子	新たな局面を迎えた東海産小麦のフードシステム ～他の小麦主産地のフードシステムとの比較から～ 農林水産政策研 吉田 行郷	農産物の地域ブランドの境界設定がもたらす隣接地間競争の行方 ～イタリヤ北部の三つのりんご出荷農協のケーススタディー～ 鹿児島大学 李 桂法 新潟大学 清野 誠喜 九州沖縄農研 森嶋 輝也
6	10:40 11:00	費用関数の推定による植物油生産費用構造の変化に関する研究 筑波大学 金田 大樹・首藤 久人・茂野 隆一	食品中の放射性物質の検査に関する知識と消費者の意識 ～知識を有する忌避層の存在とアプローチの検討～ 東京農業大学 半杭 真一	福祉法人が生産する農産物への消費者評価 元酪農学園大学 藤田 政隆 酪農学園大学 佐藤 和夫	「和食」の再定義をむけて ～「フランスの美食術」と「ガストロノミー・シテイ」全国計画からの示唆～ 京都大学 上田 遼 立命館大学 新山 陽子	地域生活基盤に不可欠なフードシステム構築の課題 ～地域食供給システムに求められる社会性と経済性～ 東洋大学 菊島 宏之	ケニアの農家によるコマの取引関係 ～ムエラ灌漑事業区におけるコマの売却の社会的背景の考察～ 農林水産政策研 伊藤 紀子
7	11:00 11:20	A Demand System Analysis of Beef in Japan Shinshu University Akiko Tani Kobe University Hitoshi Kusakari	食形態別にみた食事に対する満足度に関する研究 ～所得階層に着目して～ 東京農業大学 玉木 志徳・大浦 裕二 農研機構 山本 淳子 農林水産政策研 八木 浩平	消費者の多面的機能への認知と環境保全型農産物の価格プレミアム ～サーベイ実験に基づく分析～ 東京大学 張 采瑜 早稲田大学 高橋 大輔 学習院女子大学 荏林 幹太郎	風味の研究 ～和食を考察する視点で～ 食品と味研究所 柳本 正勝	アニマルウェルフェアに配慮したフードチェーン開発の可能性と課題 ～養豚を事例として～ 日本獣医生命科学大学 植木 美希	トンガ王国のバナラビーンズ生産者支援 元東京海洋大学 齋木 克之 東京海洋大学 濱田 (佐藤) 奈保子 湯川 剛一郎・小川 美香子
8	11:20 11:40	Analysis of Japanese Olive Oil Consumer Behaviour Using Scanner Panel Data ～Focusing on Purchase Price and Quantity～ University of Tsukuba Seifeddine Ben Taieb Kiyokazu Ujio	単身世帯における内食・中食・外食頻度の規定要因 ～首都圏の消費者を対象として～ 農林水産政策研 八木 浩平 東京農業大学 大浦 裕二・玉木 志徳 農研機構 山本 淳子 ほか1名	大かぶ取引における品質調整問題と品質調整システムに関する検討 立命館大学 大住 あづさ	学校給食における物アレルギー対応の実態について 大阪成蹊大学 久保 貴之 伴 みずほ・高畑 龍久	海外消費市場における業績と市場撤退への影響 流通経済大学 横井 のり枝	タイにおける輸出米の流通構造と変化 ～精米工場と再掲精米工場における加工工程からの視点～ 広島大学 佐々木 智・山尾 政博 農林水産政策研 天野 通子
9	11:40 12:00					産業内貿易指数の再考 ～HS6桁データを利用して～ 農林水産政策研 樋口 倫生 井上 莊太郎・伊藤 紀子	Fish consumption behavior and factors associated with the demand of fish consumption: a comparison study between the United Kingdom and Singapore Kyushu University Atin Supartini Fukuoka Institute of Technology Taru Oishi The University of Tokyo Nobuyuki Yagi